

荒尾第一小学校フッ化物洗口実施状況

平成27年6月8日（月）実施

<前準備>

- ・ 養護教諭が前週に必要物品（ディスペンサーボトル、紙コップ、洗口剤等）を準備する。
- ・ 洗口剤は、クラス毎に必要数を分けて準備する。



<当日の準備：職員室>

- ・ 養護教諭が出勤後に、各クラスの籠にディスペンサー付ボトル、紙コップ、洗口剤を入れて準備する。
- ・ 間違えないように、カードに「クラス名、実施人数、必要薬包数」を記載し、籠の中に入れておく。

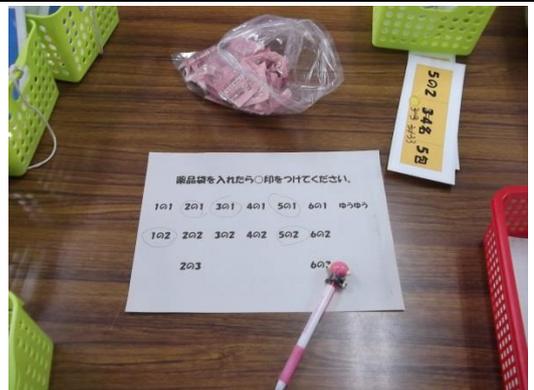


※ 養護教諭の業務はここまで

- ・ 担任の先生が、自分のクラスの洗口液を作成（薬剤の溶解）する。



- ・ 作成後の洗口剤の袋をビニール袋に入れ、入れたらクラス名に丸をつける。



<フッ化物洗口の実施：教室>

分注パターン1

- ・ 担任がコップを配る。
- ・ 児童が順番に洗口液を自分のコップに2押しで入れる。
- ・ 担任は、それを見守る。(手を添えることあり)



分注パターン2

- ・ 担任が、コップを準備し、ディスペンサーボトルを2押しで分注する。
- ・ 児童がそれを取りに前に来る。



1分間のうがい

- ・ ごしごしデンターマンの音楽にあわせて1分間ぶくぶくうがいをする。
- ・ 担任は、上、右等指導しながら、うがいができているか確認しながら見守る。



うがいの終了

- ・ コップに洗口液を吐き出す。



洗口液の廃棄

- ・ 児童が、教室横の手洗い場に、コップの中の洗口液を捨てる。



コップの片づけ

- ・ 児童が使用した紙コップを籠に入れる。



ボトルの片づけ

- ・ クラスによっては、児童が教室横の手洗い場でディスペンサー付ボトルの中の洗口液を流し、使用した物品を職員室まで持って行く。(先生が行っているところもあり)

※ ボトルの片付けは、用務員が行う。(ボトルを水洗いし、水切り籠に片付ける。)

